

令和3年度 第1回米沢市行政経営市民会議 会議録

【日時及び場所】

日時 令和3年7月5日（月）午前10時30分～

場所 庁議室

【出席者】

市民委員 石川栄樹委員、五百川満委員、岩崎令子委員、加藤英樹委員長、菅野英一郎委員、佐藤幸治委員、柴田正孝委員、杉本俊之委員、砂川和彦委員、武田直子委員、長谷川大輔委員
（伊豆田義人委員、栗林由美委員は欠席）

本部委員 副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、上下水道部長、会計管理者、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長、監査委員事務局長（議会事務局長は欠席）

事務局 総務課長、財政課長、教育総務課長、社会教育課長、文化課長、政策企画課長、政策企画課長補佐、政策企画課経営政策主査、政策企画課主任

【次第】

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
 - （1）第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について
 - （2）地方創生関連交付金の実績について
 - （3）公共施設等総合管理計画について（今年度の予定）
- 5 その他
- 6 閉会

【議事要旨】

2 副市長あいさつ

副市長 本日はお忙しい中、そして雨の中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、今回から委員になられた武田委員、よろしくお願い申し上げます。熱海市伊豆山地区の土砂崩れは、まだ行方不明の方がいらっしゃるということで、1日も早く見つかってほしいということと、白鷹町では、地元の山に入山された70歳の男性の方がまだ見つからないということで、1日も早く見つかってほしいと思っています。米沢市もそうした災害が幸いにと申しますか、危機的な状況にはない訳ですが、それでもワクチン接種ということで、市の最大の課題ということで取り組んでいるところでございます。ワクチンが入ってくる目途が立たなくなって、皆様にもご迷惑をお掛けしているところですが、とにかく一刻でも早く接種して、また新たな生活ができるようにと思っておりますので、

よろしくお願い申し上げます。本日、庁議室と 303 会議室を通して使用するの、私は初めてでございます。また、大型パネルも使うということで、私も楽しみにしております。どうぞ忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

3 委員長あいさつ

委員長 おはようございます。本日はお忙しい中、ご参集くださいましてありがとうございます。副市長からの話にもありましたけれども、この新しい庁舎で会議を開くのは初めてですので、令和3年度第1回行政経営市民会議をよろしくお願いいたします。今日の議事の中では、これまで進んできた様々な総合戦略や交付金事業等の報告、進捗状況の話が中心なのかと思いますけれども、ご案内のとおりコロナ等もありまして、非常に情勢が変わってきている中であります。その中で従来の事業を継続しているということもありますので、委員の各お立場から改めてこの時点でのご意見或いはご質問等をご発言いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 議 事

(1) 第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

委員長 まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価、それからKPIの見直しも含めて、主要なポイントというところで説明いただきましたけれども、各委員のお立場からご質問、ご意見がございましたら頂戴したいと思いますのですがございますか。

委員 KPIにまとめていただいて、数字で比較できるので非常に見やすかったのですが、進捗率の考え方なのですが、例えば、基本目標1で、新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率があって、実績値が令和2年度に72.6%で目標値が78.8%ですが、どのように計算をして進捗率が△3.3%になるのか分かりませんでした。目標値に達成したら進捗率は100%と考えるのではないかと思ったのですが、進捗率にマイナスが付くというところで、どのような考え方でマイナスが出てくるのか、前年比で減ったものにマイナスを付けているのかもしれないのですが、そういう計算がいくつか見られるのですが、考え方を教えていただけないですか。

事務局 進捗率の計算の仕方につきまして、単年度の目標設定をしているものは、基準値から目標値の増分に対して、令和2年度の値がどれだけ上がったか下がったかということを率にして出しておりましたので、先ほど委員がお話しされた新規高等学校の求職者の就職率につきましては、基準値72.8%から目標値78.8%を見たときに、令和2年度が72.6%と基準値よりも下がってしまったので、マイナスという表記を掲載したところです。

$$\text{【}(72.6 - 72.8) \div (78.8 - 72.8) = \Delta 3.3\%\text{】}$$

委員	0%になるのはどういう時ですか。
事務局	基準値が72.8%ですので、72.8%であれば進捗率は0%となります。
事務局	今回につきましては、5年計画の1年が経過したことになります。KPIがどのように進んでいるかということをつかりやすく示すため、進捗率という言葉を使ったところです。ただ今申し上げましたとおり、目標値に対してどれだけ進んだかということで考えておりますが、「延べ」と書いている基準値や目標値がありますが、そういったものは「延べ」の件数に対して、どれくらい進んだかを上積みしていく形になるので、わかりやすいかと思うのですが、単年度の目標値については、年度によってその数字がずれる可能性もございます。そういった意味では、このKPIの設定自体を積み上げていくようなものにできれば一番良かったのですが、内容によっては令和6年度にどれくらいまでいくかというような形で設定したものもございます。進捗率という言葉がふさわしいかどうかというのはあるのですが、どれくらい1年経過して進んだかというところで考えていただければと思います。
委員	1ページの一番下にある付加価値額のところで、どのように計算したら205.9%になるのか分からなかったのですが。
事務局	付加価値額につきましては、基準値が1,290億円、目標値が1,375億円ですので、分母が1,375億円と1,290億円の差、分子が基準値1,290億円、実績値1,465億円の差として計算をしましたので、目標値を大幅に上回る205%の結果としております。 【$(1,465 - 1,290) \div (1,375 - 1,290) = 205.9\%$】
委員	考え方は分かったのですが、目標値の2倍になれば200%になるというのが通常だと思ったので、ちょっとしか増えていないのに200%という数字が出てくるのがピンとこない感じがしたので、算出の仕方を工夫された方が良いと思いました。
委員長	数値の取り方ですが、素直に分かるような表現の仕方にしていただけると、市民が見た場合にわかりやすいということだと思いますので、その辺の工夫をしていただければと思います。
委員	KPIを設定してこのように活動する方針が決まったとは思いますが、各施策を通して見て、コロナの影響で大分当初目標にしていたKPIとずれが生じている箇所があると思います。この先のコロナの状況も分かりませんが、同じKPIで評価していくのかどうかということも含めて、今後の予

定等がございましたら教えていただきたいと思います。

事務局

大幅にマイナスという表記になっているようなものについては、当初の予定よりかなり落ち込みがあったということでございます。内部で検討したのですが、この総合戦略につきましては、令和2年度から令和6年度の5年間でKPIを進めていく内容になっております。確かにコロナという非常に大きな要因がありまして、昨年度は進められなかったということがございますが、ワクチン接種等が進んでおりまして、今後4年間は昨年度とは違った形で、状況が上向いてくる部分も考えられるかと思ひまして、この5年間のKPIにつきましては、目標ということで進めていきたいと思ひます。今後もこの行政経営市民会議で進捗状況については報告しますが、なかなか進まないようなKPIについては、この会議で修正していくような形で進められればと考えているところでございます。

委員

個人的にも、コロナ前後のことは気になっていまして、これから先は今までの常識が通じない世界になると思ひます。なおかつ、コロナウイルスは変異するので特効薬は生まれないというのが私の考えなのですが、このようなことが発生しては消え、繰り返すようになると思ひます。裏を返せば、東京に集中していた中央集権的な考え方が大きく崩れるタイミングだと思ひます。コロナウイルスは集中型の社会が崩れる意味で、非常に地方にとってチャンスだと考えています。なので、ワーケーションなど地方分散型の社会の構図を作る上で、今、地方のやるべきことはそういうことに対するアプローチだと思うので、そういった点でも米沢市としての施策を作っていただいて、幅広い働き方改革の一端として、もっと働きやすいやすい世の中を作ることができるのでないかと思ひたところでした。

事務局

やはりコロナを踏まえて社会が変わっていく中で、ワーケーションであったり、テレワークを活用して米沢市に移住者を呼び込んだりなど、そういったことは考えていかなければならないと思っておりますので、今後コロナがどうなっていくか分かりませんが、それに合わせて行政のあり方も変えていかなければいけないと思っております。

委員

コロナで大変な中なのですが、ふるさと納税をもっとインターネットで配信して、たくさん儲けていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

事務局

ふるさと納税については、本市でも大変力を入れている事業です。そのような中、私たちの課題となっているのが、やはり品目数をできるだけ増やしていくこと、その中でもぜひ米沢に来ていただきたいということもありますので、体験型のものを返礼品の中に取り入れていきたいと思っております。

ります。現在返礼品については、13カテゴリーに分けておりまして、品目数だと大体600から700を移動している状況ですけれども、新たな返礼品ということで地元の事業者と相談しながら、増やしていく取組みを進めております。

委員

四季のまつり等がコロナで中止になったわけですが、去年米まつりだけは私が実行委員長で規模を縮小してやりました。今年秋に上杉まつりもやるということで、秋までに高齢者のワクチン接種は進むと思いますが、一般の方はどのくらいまでいくという目標を立てているかと思っておりますが、どうでしょうか。

事務局

コロナウイルスワクチンの接種につきましては、当初計画していたよりもワクチン数が少ない状況となっており、計画の見直しを若干させていただいております。現在、バス、タクシーですとか、飲食店、観光業の方々について、優先的に接種いただくことで進めております。当初、大規模な接種として予定していた企業向けの枠につきましては、今後の新たなワクチンの供給というものが分かり次第、進めていきたいと考えております。ただ新聞報道でもご存知かと思えますけれども、本来は段階的に年齢を下げて接種の方向に進めたいと考えていたところですが、60歳未満の方については、ワクチンの接種が未定になっております。ワクチンが入り次第、確実に進めていきたいと考えておりますが、目標を今の段階で申し上げることができないものですので、ワクチンが入り次第、的確、適正に進めていきたいと考えております。

委員

やはりワクチンを接種すれば、まつりなどができるということがありますので、接種に反対している方もいらっしゃると思いますが、何とか通常の生活に早く戻れるようにやってもらいたいと思います。

委員

KPIの変更についてお尋ねしたいのですが、男女共同参画啓発講座等の実施数で評価しようということなのですが、これは行政側でやる講座ですので、仕掛けた側の数字でコントロールできるのではないかと思いますので、できればこの講座等に参加した企業数などで、評価すべきではないかと思ったのですがいかがでしょうか。

事務局

先ほど担当から説明したとおり、別の計画で使っている指標を準用した部分になります。ただ、今、委員がおっしゃったとおり、実施件数というのは確かに開催する側で調整できるということがございましたので、例えば参加者数などにできないか担当課と確認しまして、そのような形にできる場合は修正したいと思います。

委員

1 ページに付加価値額が書いているのですけれども、205%ということで非常に付加価値額が増えたように見えるのですが、一方で大学院生が流出しているのが心配だったのでお聞きしたいと思ったところでした。私も取引先を回っていると、インターンシップや産学官で共同研究をやって、いろいろ工夫して付加価値額を上げようという姿勢が見られるので、非常に良いことだと思っているのですが、院生ができれば残ってもらえるような環境整備をどのようにやっていくのかお聞きしたいと思います。

次に、KPIの目標はあるのですが、山形県内の市町村と比べてどうかというところを、全部はできなくても一部はできると思ったので、米沢市が頑張っているようなところを前年対比で、県内でどのぐらいまで伸びているのかが見えると、非常にわくわく感も出て良いと思いました。

最後に、米沢市がせっかくSDGs未来都市になったので、SDGsと評価シートがどう結び付くのかというところは、プラスアルファで展開されると総合戦略も良いものに作り上げられるのではないかと思いますので、見解をお伺いしたいと思います。

事務局

大学院生をできるだけ地元に着させるということですが、非常に大きな課題だと思っております。過日、山形大学の中島先生からお話をいただきましたが、国でも大学院生の地元への定着も含めて、研究型の企業で研修するインターンシップのようなものも検討されているとお聞きしております。ぜひそのような制度を米沢市でも活用していきたいと思っておりますし、併せて、商工会議所とも協力しながら、大学生のインターンシップに取り組んでいるところです。非常に大事な課題ですので、国の動きも見ながら取り入れられるものは取り入れていきたいと思っております。

事務局

県内の他市町村との比較は、できていなかった部分がありますが、大事な視点だと改めて感じたところですので、すべての項目ができるかどうかはあるのですが、主要だと思われるようなKPIについては、他の自治体の状況も確認して、比較できるようでしたらご提示できればと考えたところです。また、SDGsとの関係ですが、総合戦略の冊子で、それぞれの施策についてSDGsの項目を結び付けて作成しております。そちらをご覧くださいければと思いますが、今回の資料にその辺の表記もできれば感じたところですので、そういった工夫も今後していきたいと思っております。

委員

3-1の結婚、妊娠、出産、子育てに切れ目のない支援の③子どものための教育保育の環境整備について、今後の方向性のところで、保育士配置に対する人件費補助を再検討する必要があると記載いただいているかと思います。保育業界についても全産業平均で賃金については、なかなか厳しい状況もありますので、こういった形で記載していただいておりますので、ぜひ検討いただければと思います。

事務局	この点について、再検討という言葉は今後の方向性を含めてということで記載させていただきました。やはり安心して女性が社会進出できるという考えは必要なことですので、今後とも継続して進めていきたいと思えます。
委員	1 ページで大学院生の95%が県外に行くということで、米沢に残る良さが見当たらないから行くのだと思うのですが、95%も流出するというのは非常に多いことなので、もう少し何とかならないのかと思います。
事務局	オフィス・アルカディア団地の中にも研究開発型の企業を誘致したいということで、分譲区画も用意しておりますが、米沢市におきましては、主に研究型の企業数が少ないということが挙げられます。ですから、必然的にそういった仕事を求める学生は、どうしても首都圏中心の企業に行くということだと思っております。給与や福利厚生もさることながら、希望に合う職種を地元で用意することは難しい訳ですが、そういった企業も誘致したいという思いで頑張っていきたいと思っております。

（２）地方創生関連交付金の実績について

委員長	地方創生関連交付金事業ということで今回は２点の報告がございました。委員の皆様から何かご発言はございますか。 (発言なし)
委員長	民間企業でも事業再構築補助金のような新しい取組みということで、今、様々な形で従来のものを見直していく非常に重要な局面になってきたのかと思います。特に発言がございませんでしたので、次の議題に移ります。

（３）公共施設等総合管理計画について（今年度の予定）

委員長	これについてはいかがですか。質問等はございますか。 (発言なし)
委員長	改めて各委員から何かご発言はございますか。特に無いようでしたら、議事をこれで閉じます。ご審議いただきましてありがとうございます。

５ その他

事務局	委員の改選についてご説明いたします。委員の任期につきましては、今年の9月25日までが任期となっております。次回の開催に当たりましては、委員の改選が必要となっておりますので、事務局といたしましては、現在
-----	--

の委員の皆様、引き続き委員をお引き受けいただきたいとは考えておりますが、改めて所属団体等を通して、依頼を差し上げたいと考えておりますので、その際はよろしくお願いしたいと考えております。なお、次回は10月に開催する予定にしておりますので、よろしくお願いいたします。

6 閉 会

※ 本委員会に関しては公開、会議録については要点筆記で委員の名前は記さないことになっております。